

平成23年度一般会計当初予算説明資料

10款 教育費

1項 教育総務費

小中学校課 (内線: 7915)

4目 教育連絡調整費

(単位: 千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
(新)「未来を拓くスクラム教育」推進事業	6,553	0	6,553				6,553	
トータルコスト	11,346千円 (前年度0千円) [正職員: 0.6人]							
主な業務内容	市町村への補助金交付、指導助言、連絡調整							
工程表の政策目標(指標)	-							

事業内容の説明

1 事業の概要

本県教育の重点課題である「学力向上の推進」のため、中学校区を指定し、タワーとして幼保・小・中・高・大が校種の枠を超えてスクラムを組み、一貫性のある教育による先進的な取組を進め、その成果を全県に広げる。

2 事業内容

(単位: 千円)

区分	予算額	事業内容
タワー地域の指定	6,000	<p>校種間連携による一貫性のある教育を実現し、「学力向上の推進」を図るため、地域の実態に応じた先進的な取組を実施する中学校区を指定し、取組の中心となる教員を配置するとともに、教材開発などに必要な経費を助成する。</p> <p>指定条件等 ○指定事業 「学力向上の推進」を図るため、校種の枠を超えて一貫して取り組む教育実践で、全県への普及が見込まれる先進的な取組み。 (例)・接続期(小6→中1、中3→高1)に対応したカリキュラム開発 ・英語・数学等のレベルアップを目指した校種間接続による相互乗入授業実践 ○指定期間: 3年 ○指定地域: 6地域 ○事業費: 事業推進に必要な経費(カリキュラム・教材開発、調査分析など)を助成。 1,000千円×6地域</p>
連絡協議会の設置・開催	132	スクラム教育の実践を推進するため、県教育委員会とタワー地域の代表者等による協議会を設置・開催する。 開催回数: 年2回
フォーラムの開催	421	タワー地域の取組や県外推進地域の実践紹介等によるフォーラムを開催し、成果の普及を図る。 開催回数: 年1回

3 これまでの取組状況、改善点等

- 学習意欲や活用する力の伸び悩み、学力の二極化傾向、中学校1年生の新規不登校生徒数の増加などの課題解決には、学校種間の一層の連携が重要。
- 平成20年に改訂となった新学習指導要領では、広い視野に立った教育活動の改善・充実、幼児児童生徒に対する一貫性のある教育を推進する観点から、学校相互の連携による新たな発想や取組が求められており、市町村による具体的な実践を推進することが必要。